

強みの自覚が

No.33

2017

事業の飛躍に!



売上5割UP!

日本人ばかりでなく、外国人の心も捉える囲炉裏の間

かまどでの自炊体験は、修学旅行生に人気

囲炉裏の間に宿の顔
もてなしの心を形に

垂水市のグリーンツーリズム推進に伴い、昔暮らしが体験できる「古民家の宿たるみず」の経営に乗り出した市渡雄一さん・しのぶさん夫婦。自らの手で古民家をリノベーション。宿・喫茶・居酒屋を二人で切り盛りしています。

昔暮らし体験をもっと楽しんでもらいたい。五右衛門風呂や囲炉裏を設えた魅

無料の経営相談所
鹿児島県
よろず
支援拠点
NEWS

力的な施設をどう作ればいいのか。よろず支援拠点への相談は、改修工事がきっかけでした。桜島の噴火で観光客が激減し、経営を圧迫していた昨年末のことです。

よろず支援拠点のコーディネーターは、市渡さんの思いを聞き、インテリアとしての古タンスの利用、壁照明での演出、壁に朱色のアクセントを設けることなどをアドバイス。素敵な囲炉裏の間が完成しました。これは、経営意欲に弾みがつく契機でした。これまでの個人滞在客に加えて外国人

変化ふりを楽しみむりピーターも付くようになりました。外国人予約もうなぎのぼりとなるなど、重ねた努力に結果が実を結び、売上は5割増となったのです。まもなくホテルがオープン。しかし、「私たちに宿には体験という強みがある。ホテル開業は、私たちの宿が目に残るチャンスカも」と自信を覗かせる雄一さん。庭を整備し、客が釣った魚を焼く東屋を建てるなど、よりお客さんに楽しんでもらえる宿にと、宿は今日も進化中です。

客を引付けようと、外国人向け宿泊サイトに登録したり、ツーリング客向けに安価な部屋に改造したり、喫茶&居酒屋のメニューの見直しをするなど、経営改善を進めます。ところが、近隣では再開発が進み、ビジネスホテルの建設計画も。周辺の大きな変化に自分たちの小さな存在を不安に感じました。コーディネーターは、施設全体を一体化して大規模間を作るべく、現在の駐車場に塀を建てることを提案。市渡さんは、コツコツと手作りで対応し、その



昔暮らしを存分に楽しんで欲しい!

市渡雄一さん

市渡しのぶさん

古民家の宿たるみず

垂水市浜平2096-1
tel.0994・32・4649



東屋や壁などを自力で少しづつ整備中だ



素泊まり1000円のコンパクトな部屋

(公財)かごしま産業支援センター 鹿児島県よろず支援拠点

CC:加藤剛/SCC:山之江清子/C:向江隆行・森史憲・堂免正志・小平田貴子・鎌田香・松田貴志・新地美沙・武田清孝

tel.099・219・3740 ✉ yorozu@kric.or.jp

鹿児島市名山町9番1号(産業会館1階)/FAX.099・223・7117/営業時間 平日8:30~午後5:15

